

ふれあい 16号

平成29年4月18日発行



シニアユニバーシティ北浦和校

8期校友会

会長挨拶

8期校友会会長 蔵重 修二

会員の皆さんお元気で活躍の事と思います。しかし今年度に、不幸にも二人の方がお亡くなりになりました。我々の世代は、急に体調を崩しそれがもとで不幸になることが多々ある年代です。油断せず元気に過ごしたいものです。

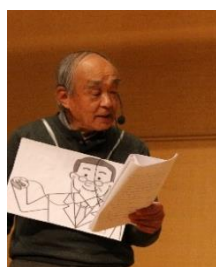
ところで、2009年に8期校友会が発足して（実際に我々が出会ったのは2008年のシニアユニバーシティ1年目の学友会の時ですが、校友会が発足したのは大学院の時が1年目です）2017年で8年目です。発足の時は144名おられた会員の方は、2017年の来年度は63名になる見込みで、発足当時の半分以下になります。年間使える会費も12万円余りと少なくなってきた2016年度は、班単位の活動の他に、12班を4つのブロック制にして、班を乗り越えた交流の場を新たに作り活動することにしてみました。班を乗り越えた活動が少しはできたと思っています。2017年度も、もう一年同じ体制で活動しようと考えています。

来年度も、年数回の講演会を企画する予定ですが、他に8期校友会全体でできる社会貢献活動がないか模索中です。社会貢献活動としては、ペットボトルキャップを回収してポリオワクチン接種支援及び炭酸ガス発生量の軽減で地球温暖化対策に貢献しています。この他に8期校友会全体でできる社会貢献活動一つとして、私が個人的に2年前から始めた歩行者通路のゴミ拾いの清掃活動ができないかと考えています。私が始めたときは、道路の歩行者通路にかなりのゴミが落ちていましたが、2年余り続けて徐々に減ってきているような気がします。さいたま市の条例には「ポイ捨て禁止」規定がありますが、なかなか守られてないのが実情です。

その他に、社会貢献ができる活動のアイデアがあれば、会員の皆さんから提案していただければたすかります。よろしくお願いします。



北浦和協議会演芸会
8期参加「あるバツタの話」



↓ 8期校友会・芋煮会



今年度のよもやま話

企画部部長 本間 進



なんと一年が早かったことでしょう

28年度は北浦和校 8期として大学、大学院を含め 9年目を迎えました。ここ数年、年 4回の全体集会・学習会の行事と 2,3の年間行事は企画部にて計画を推し進めて参りましたがマンネリ化の声あり。校友会発足当時は全体集会・学習会の行事は二班が一組となり計画して来ましたので、ならば原点に戻るのも一案かと。それと 8年も経過しているのに未だ校友会員名知りえず。あの方、何班の何方を解消し。会員同士の親密度を深めるのと、年間行事の計画等も原点に戻り、大勢の会員の方のご意見お聞きし、より良い年間行事計画にすべく趣旨で 8期校友会“ブロック制度”発足。現時点での 12班を 4等分 Aブロック、Bブロック、Cブロック、Dブロック。それぞれのブロック理事正副 2名で構成。A,Bブロック(企画部) C、Dブロック(総務部、広報ホームページ) ここ迄はすんなり。趣旨である年間 4行事ある全体集会・学習会を C、Dブロックそれぞれ 1行事担当を依頼するも総務多忙?の為受け入れ不可との事(趣旨を理解されていらしゃらない)再度,再々度数人での依頼も聞く耳もたれず。(29年度は4ブロックでの行事分担は不可欠です)止むお得ず今期は A、Bブロックにて 2行事担当となる。企画部も例年の年間 2行事担当。

学習会演題

- ★第 1 回目の学習会 関東クリニック松本正光院長による 「笑って認知症予防」大いなる笑を頂いた学習会でした。古来から言い伝えられてる「笑う門には福来る」実感です。
- ★第 2 回目の学習会 笑顔が素敵なお馴染み富田理恵先生とお仲間お二人による「楽しい笑顔の音楽会」今回はエレクトーン演奏、朗読、手品のコラボと新メニューが加わり恒例全員合唱にて脳の活性化が計れ、意義のある学習会であったと思いますが・・・
- ★第 3 回目の学習会 さいたま市国際協会交流センター長 石川信夫氏、さいたま市経済局国際推進係係長 轡田真幸氏のお二人による「国際交流に参加しよう」さいたま市内に在住 2 万余人多文化共生社会構築に向け市の基本計画の説明(石川氏) 外国人支援事業の紹介、その事業のほとんどが市民ボランティアによって支えられている(轡田氏)
- ★第 4 回目の学習会 三愛病院医療支援室・室長 辻 直樹氏による「骨粗鬆症を知ろう」あなたの骨は大丈夫?

※今年度学習会演題皆さん如何だったでしょうか。

企画部行事とお手伝い

- ★落語鑑賞会 柳家喬の字 8期参加者全員協力のもと施設準備等 今回は大受けの様
- ★芋煮会 皆様のご協力のもと楽しいひと時を過ごす事が出来ました。
- ★研修バス旅行 危惧された天候も、当日絶好の行楽日和に恵まれ、晩秋の長瀬路満喫頂けたと思いますが皆さんは如何だったでしょうか?



まとめ

ブロック制が発足し、班活動がブロック活動になり他班の方との交友関係が広がり。あの方あなたは少なくとも同ブロック内ではなくなったのではないのでしょうか。一方本来の趣旨である校友会年間行事はより多くの校友会会員に参画して頂ければと思います。

それとこれはブロック制との関連はないのですが。連協、北協主催行事(講演会は除く)に 8期校友会会員の方々の参加が少なく感じられます。参加することに大いに意義がありますので参加しましょう。

全体集会活動報告

国際交流に参加しよう

～ 2016年11月 講演会報告 ～



2016年11月15日(火)午前10時から11時45分にかけて、「市民会館うらわ」603・605集会室で52名参加のもと、“国際交流に参加しよう”とのテーマで講演会が開催されました。講師は轡田真幸氏(さいたま市経済局観光国際課国際化推進係長)と石川信雄氏(さいたま市観光国際協会国際交流センター長)のお二人。

埼玉県内には現在131ヵ国14万人近くの外国人が居住しており、そのうちさいたま市には、県内では川口市に次いで多い2万人余の方が住んでいます。これら在留者以外にも、新都心や大宮氷川神社などを訪れる外国人訪問客の数も年々増加の一途をたどっています。今後私たち市民が外国人と接触する機会はますます増加しそれはさらに日常的なものになることでしょう。

このように急増しつつある在留外国人や訪日客に対しては、どうしたらありのままの日本の姿や日本の素晴らしい自然や文化をより良く知ってもらえるか、それに加えて在留外国人に対しては、いかに不自由なくかつ心地よく生活してもらえるかが大きな課題です。



私たちは誰しものような課題への対応の必要性を認識しており、それに積極的に参画したい、あるいは協力したいと考えてはいる



ものの、現実にはどうしたらそうした国際交流に参画できるのか具体的な方法についてはよくわからない、というのが一般的なのではないでしょうか。

轡田氏は行政の立場から、さいたま市が国際化に向けてどのような取り組みを行ってきたのか、さらにはこれまでの経緯を踏まえたうえで今後どのような方針で取り組もうとしているのか等、「さいたま市国際化推進基本計画」について話されました。具体的には、姉妹・友好都市との交流促進、外国人にも住みやすいまちづくり、行政サービスの国際化、多文化共生に向けた相互理解の促進、留学生・研修生の支援、市民を主体とする国際化の推進などを図ってゆくという内容でした。

石川氏は、国際交流センターが実施している国際交流事業の概要について話されました。われわれ市民のそれらへの参加形態を大別すると、①事業委員またはスタッフ等のイベントボランティアや通訳・翻訳者として参加するもの、②国際友好フェア・国際ふれあいフェア・外国人による日本語スピーチ大会のように、ボランティアとしてでも、あるいは単なる観客としてでも参加できるもの、③語学講座・ミニ講座・ボランティア養成講座・日本語ボランティア養成講座等・受講生として参加するもの、④外国人留学生などのホームステイやホームビジットのホストファミリーとして、また北浦和の日本語国際センターに研修に来ている外国人日本語教師との交流行事への参加等があります。

これらのさまざまな活動や行事にスタッフやボランティアとして参加するためには、国際交流センターの賛助会員登録(個人会費2,000円/年)が必要です。会員になると同センターから各種交流会、語学講座、研修会など協会主催イベントの優先案内や会報誌・情報誌の送付が受けられます。

通訳・翻訳ボランティアを除けば、外国語の得手不得手は全く関係なく、“おもてなし”の心さえあれば十分です。是非協会の会員になって積極的に国際交流に参加してみませんか。

(Aブロック 澤田記)

バス旅行報告

「長 瀨 溪 谷」



今回のバス旅行は参加者も吃驚するぐらいの好天に恵まれ楽しいものになりました。入校以来皆で経験した色んな行事を思い出しますが、やはり旅行が一番記憶に残っています。校友会になってからは会員自らが企画して行い、今年の「養老溪谷」も一昨年の「山梨のリニア会館」昨年の「千葉の養老溪谷」に続く新しい思い出に加わりました。

温暖化の影響でしょうか最近はずづついた日が多く、旅行当日も週間天気予報では「埼玉北部は雪の可能性も」との事で心配していたのですが、当日は素晴らしい天気にも恵まれた一日をおくることが出来ました。

旅行二日後の24日は予報が的中し朝からの雪と寒さに震えた事を思うと、運が良かったと言わざるを得ません。

HPにも記しましたが、早朝の集合にも拘わらず参加者37名一人として遅れた方はなく、予定通り7時30分に北浦和を出発し順調に目的地「長瀨溪谷」に着きました。長瀨では「溪流や岩畳」そして「宝登山々頂からの景色」を楽しみ、竹細工のみに盛りつけられた昼食をした後、三々五々宝登山神社に参拝し帰路につきました。

私達の目を楽しませてくれた夫々の景色や食事については、拙文ではなく掲載した写真で味わって頂きたいと思います。

下見された方が年齢に合わせてゆとりのある行程を計画して下さいお蔭で、お喋りやお土産選びなどを交え一日ゆっくり行動出来る素晴らしい旅行になりました。来年の旅行にも皆さんと元気に参加したいと思います。

(Aブロック 眞田記)



Aブロック活動報告

浦和競馬場・見学記

1班 藏重 美佐子

暑さの残る9月15日(木) Aブロックの一行13人は南浦和に集合しました。7月の会食に次ぐブロック2回目の活動です。移転間近だった築地場内市場見学等の案もあったのですが、メンバーにガイド(ブロック長)がいる地元〈浦和競馬場見学〉に全員一致で決まり、開催されるこの日となりました。

ちなみに、インターネットで浦和競馬場を調べてみると、興味深い情報が・・・

「浦和競馬場は、戦後に制定された競馬法に基づき、地方自治体の主催として日本で最初に開催された、歴史ある地方競馬の競馬場」なのだそうです。1947年(昭和22年)開設。

また、10月26日付の埼玉新聞に「大宮競馬場建設記念碑」の記事が目にとまりました。大宮北区役所付近に戦前「大宮競馬場」があったというのです。この競馬場は、1931年(昭和6年)県畜産組合連合会が主体となって誕生し、当時の新聞には十数万人の人垣で会場があふれたとの記事。日中戦争が勃発した1939年(昭和14年)には閉鎖され、軍の鍛錬競馬場となり1942年(昭和17年)には廃止。往時を語る記念碑が北区役所敷地内に立っているということ。こんな歴史を知ったのも、ブロックでの見学ができたからこそでした。



さて本題に入って、南浦和駅には開催中は5分おきに無料の送迎バスが運行されていました。私達シニアは1台見送って全員着席で、10分もかからずに到着。入場料100円で正門より入るとすぐ右手に綺麗な〈パドック〉が。レース直前の競走馬の様子を観察できるどころだそうです。毛並もつややかな凛々しい駿馬たちが歩いていました。素人の我々には従順そうとかやんちゃそう〜位しかわかりません。

ブロック長の案内で見物席に陣取り、まず2レースを見ました。スタートゲートを直に見るのは初めてです。収容人数は3万人とありましたが、私達の自由席には人影はまばらでした。1200mのコースを疾走するレース後はすぐに着順と配当金(?)が写し出されます。3レース目からガイドの手ほどきで馬券を買ってみました。単勝・連勝とか買い方はいろいろあるようですが、とにかく初めての我々にとってはよく分からず・・・馬で決めるのか騎手で決めるのか、まずは単勝でと、1回100円を掛け・・・そうすると応援にも力が入るというものです。期待したものの2~3回掛けて元が取れた人は約1名でしたが300円程で充分楽しみました。5レース程見学し、昼食は売店で屋台食を集っていただき散会・・・

初めての競馬場体験でしたが、広いきれいな馬場! 凛々しい馬たち! 格好いい騎手! を間近に数百円で結構楽しむことが出来ました。女性もちらほら見ましたが若い女性は見かけませんでした。〈競馬〉と聞くと、賭け事のせいか、日本ではまだあまり良いイメージがないのは残念! 山ガール、鉄子さん、リケジョ・・・等々、流行語が、イメージを明るくしている昨今、「馬ガール」や「競馬女子」みたいに地方競馬も家族や若者にも楽しめる明るいイメージになったらいいな! と思えた浦和競馬場見学でした。

Bブロック活動報告

忘年会

4班 原田 国子



私達Bグループは、グループ構成になって1回目は他のグループにも声を掛け、50人近い人達と東京湾クルーズをしましたが（ホームページ掲載）、今回はBグループだけで新都心で「食事&イルミネーションを鑑賞する」という計画を立てました。

新都心駅に17人が集まり、合同庁舎1号館31階の喫茶室ビューテラスに行きました。

31階からの大宮・新都心等が遠くまで見える夜景が素晴らしかった事。さいたまの夜景がこんなに綺麗に見られる所が有るなんてさすが31階、上から見下ろすイルミネーションも中々見応えが有り、皆さん食事の前に大感激されました。

何時も気に掛けていた6班の片野さんもお元気で参加され、大歓迎されました。片野さんも皆に会えて嬉しいと話が弾んでいました。

食事とお酒も飲み放題が付いていたため大いに盛り上がり、席を移動して色々の人と話をしてグループ全体が和気あいあい、今迄は余り話もしなかった人とも親睦が深まり、大成功でした。そのうえほとんど全員揃っている良い時なので、来年度の役員の相談等もスムーズに決まり、10年という大事な年も期待が持てると思えました。楽しい良い仲間にも恵まれ幸せな一時でした。

隣の席には、偶然シニア北浦和校15期の史跡クラブの皆さん(大学院生)が居られ、7年過ぎてもこんなに楽しく続いて居るのだという良い見本になったのでは無いかと思われました。

2時間半程の宴会も8時過ぎに打ち上げ、其の後はほろ酔い気分だけでやしき広場の華やかなイルミネーションを楽しみました。夕方から雨と言う予報でしたが、ほんの少しポツポツ位で暖かくて風もなく12月にしては最高の陽気でした。

全員で文字通り年を忘れ、来年も元気に校友会活動をしようと誓い、楽しい忘年会になりました。



Cブロック活動報告

新年会と造幣局博物館と工場見学会

平成 29 年 1 月 10 日 (火)

グループとしては初めての活動を下記のように実施しました。

参加者は、造幣局見学は 9 名、新年会は 10 名でした。

9 時 30 分に新都心駅改札口に集合し、徒歩で造幣局さいたま支局へ向かいました。当日は寒に入ったとはいえ晴天で温かく参加者の心構えが良かったのでしょうか。見学の予約をしてあったので案内人も付き、先ず造幣局の歴史をしめすビデオを鑑賞し、世界中の貨幣の歴史と現代の硬貨と記念硬貨を展示した博物館、次いで勲章を制作する工場を見学しま



した。緻密な作業なので、静かな雰囲気の中で技師が作業を行っていました。流れ作業の騒々しい工場をイメージしていましたが、作業する方も少なく、静かな工房といった雰囲気でした。一時間半程度で見学が終了し、新年会会場へ移動しました。途中 K 氏の大邸宅を通りから眺めながら三菱マテリアル跡地が公園になるらしい、一等地になるね、など話しながら新都心内のラフレビルにある「秋が瀬」に行きました。同所で昼食を兼ねた新年会を途中参加の一名を加え開催しました。女性 9 名、男性 1 名という会で、多勢に無勢な私は、皆さんのお話を静かに拝聴しておりました。

体調の加減で参加したくてもできなかった方も多く、本年の健勝を祈念して解散しました。
(T.A.記)

Dブロック活動報告

Dブロックの食事会

初めての食事会と見学会を 11 月 17 日(木)に行いました。大宮駅に集合し、午前中は JR 大宮総合車両センターの見学で、保安帽をかぶり、係の人が案内、説明をしてくれました。

同じ床にある車両は、非常に大きく見えること！また驚いたことは、小田急の車両がある事、これは東京オリンピックに向け、JR と相互乗り入れの為に改修が JR でないと出来ないそうです。最終は蒸気機関車が修理中でした。この機関車は「C58239」。2 月末、新聞にこの機関車の事が載っていました。「3 年前に JR 釜石線で復活した蒸気機関車『SL 銀河』で 4 月 29 日に釜石線で運転を再開予定」だそうです。

昼食は与野駅近くのそば処「孤丘」でそばをすすりながら班を越えて、参加者 9 名は和やかに時を過ごしました。(記 平岩)



※ H29 年 3 月 30 日(木) 桜環境センター見学を実施しました。

クラブ活動報告

「花散策クラブ」

1. 第61回 熱帯花木が咲く「大崎園芸植物園」

開催日 10月6日(木) Dグループ
場所 さいたま市緑区 参加者 7名

感想

*当日は台風18号の進路が気になる天候でしたが、少々残暑気味の秋晴れになり、浦和からバスで20分で到着しました。台風の影響から園内のビジター客が居なくてひっそりとしていました。

大・中・小の温室内は南方系の花木が咲き揃い、室外の園地の花木は、冬の季節への端境期で華やかさは無く、あちこちに萩・秋明菊が咲き誇っていました。

隣接のヘルスセンターのレストランで、昼食をすませてから足を伸ばし希望者が新都心に今月3日に新設開所式を終えたばかりの、独立法人造幣局さいたま支局に行き、貨幣・勲章・褒章等を製造する工場に接続した貨幣博物館を見学して有意義な時間を過ごしました。(A・O)

*近場の散策でのメリットは、時間に余裕がある時に臨機応変に希望者がプラスαの場所に行けることではないでしょうか。(R・O)



2. 役員会

開催日 11月15日(火) 全体集会・講演会終了後
場所 市民会館うらわ 1階ロビー
議題 次期役員及び新年会等について

3. 新年会及び総会

開催日 平成29年2月7日(火) 12時~14時
場所 日本料理・秋ヶ瀬庵 (TEL048-660-5514)
集合 新都心駅改札口 11時45分
*詳細は、送付済みのハガキの通り

担当 上野・牧野

4. 第62回 椿山荘の「椿」

開催日 平成29年2月28日(火) Aグループ
集合 王子駅 中央改札口外 10時

5. 今後の予定

第63回 花散策 Bグループ
未定

以上



吹矢と腕と無心

平岩 敏男

吹矢クラブに入部して未経験者は的までの距離は 6m、上達に従って 7m、8m と的は遠くなる。当然、私も 6m からスタートし現在は 7m で練習に励んでいます。

「吹矢って、筒に矢を入れ、吹くだけで良いんだよね」「その通り、吹くだけだね」・・・と、思われますが、どっこい、だいぶ違うようです。

最初のころは想定よりほどほどに吹けたかもしれなかったが、何故かそのうち少しずつ点数が落ちてきました。

それはなぜ？・・・姿勢？ 呼吸？ 体調？ 感？ 集中心？ が未熟？
なんだろう！！ 全てかも？

点数が良くなるべく“研究”をしつつも良くなるどころか悪くなるばかりだ。

当然吹矢は、腕力は必要としない年寄り向けの健康スポーツだと思う。

それは、よりよい点数が出るよう努力すべきと思うが、この会には、会話あり、笑いあり、カツあり、などなどで、毎回、出席者は 8～10 名ですが、にぎやかさと楽しさは 3 倍だ。とてもよい事だと思う。

点数の結果は下降線をたどっていますが、レーンに立ったら、“雑念を払い”ちょっとだけ“無心”に心がけ“点数にこだわらず”“楽しく”、もうしばらく無の心で続けようと思う。



絵手紙くらぶ・会員募集中

1. 会 場 常盤公民館・資料室
2. 開催日 月 1 回 (第一金曜日) 13:30～
3. 講 師 酒井 嘉子先生 (シニア大学北浦和 8 期会員)
4. 会 費 月 ¥500 会員は男性 2 名・女性 3 名
5. 連絡先 藤枝 一子 (6 班) 048-865-0973



布ぞうり作りをしませんか

1. 会 場 常盤公民館
2. 開催日 月 1～2 回 (木曜日) 1:00～4:30
3. 講 師 松井博記先生 (元 シニア大学 8 期会員) ※スリッパ型もあります
4. 会 費 材料費のみ (1 足 600 円程) 新規参加は編み機・テキスト等用意
5. 連絡先 藏重 美佐子 (1 班) 048-699-9773





私の散歩道

1 班 高橋 秀雄

下町生まれの私が子供の頃よく遊んだ場所は、深川門前仲町辺りで、お祭りの屋台が所狭しと並んでいる中を、少しばかりの小遣いを手にわくわくしながら友達と歩いた事を思い出します。

学生時代には北海道から九州まで無計画な一人旅をして、宿の無い時は交番にお世話になり、両親には大変迷惑をかけました。



就職先で偶然の出会いから結婚し、子育てから始まって決して楽な生活ではなかった二人ですが楽しい事も沢山ありました、若さが苦勞を感じさせなかった時代でした。

東京オリンピックを境に急成長した街の中を、多くの人が無我夢中で走り、そして私も同じ時間に家を出て同じ時間に帰宅し、次の日もまた次の日もいつか仕事人間になり家庭を顧みない生活を送りました。

定年後主夫は二人要らないと言って、かみさんは働きに出て初めて家事をする事になり、その苦勞を知らされました、

今迄、一人で一生懸命頑張ってた、これだと思ったのは実は沢山の人に助けられ、支えられて来たからだと思いました。



これから医療費は嵩張り物価は上がり年金は減り厳しい時代を迎えています、偶にはゆっくりと、肩の力を抜いて歩いて来た道を楽しんで散歩してみたいと思います。

最近自動車事故に関する報道をよく耳にする、特に高齢者の起こした事故が大きな社会問題となっている。10 月末日に起きた横浜の事故は登校途中の小学生たちを巻き込み 87 歳の男性が運転する自動車が列にぶつかり男の子 1 人が死亡、5 名が重傷を負った。誠に痛ましい事故である。

私も 4 月で満 79 歳を迎えた折りに免許証の自主返納をしました。



人間誰しも齢を重ねるにつれ視野も狭くなり、とっさの判断力も鈍りアクセルとブレーキの踏み違いなどが大きな要因になっています。

私が免許証を取得したのは昭和 38 年と記憶していますが、マイカー時代の走り、高度成長の最中、景気も上昇し始めた頃でした。丁度そのころ新発売されたトヨタの真っ白なカローラを購入しました。郊外のドライブ、旅行は勿論、通勤の足として北浦和駅まで、時には会社まで利用しました。古き良き時代で、渋滞知らず、又ガソリン代も安く快適なドライブの出来る時代でした。その間約 50 年間、対人対物の接触事故もなく過ぎたのは幸いでした。

自主返納した今日も、ハンドルへの愛着は忘れがたいですが、レジャー、旅行は JR、バス、ゴルフは JR を利用、近場のショッピングは健康を兼ねて徒歩、急用はタクシーを利用しています。不便さはさほど感じていません。

世評では加害者としての高齢者が強調されていますが、被害者としての高齢者も熟知する必要があります。 昨年は交通事故者の 55% が被害者としてリスクを負っているようです。

高齢に差し掛かっている我々は交通事故の加害者、被害者に関わっている現状をよく認識する必要があります。

最近紙面に紹介された川柳を紹介します
道路を暴走するのが 18 歳、逆走するのが 81 歳
暴走車老いも若きもプロでさえ

ペットボトルキャップ回収報告

2017 .2. 28.

シニア大学北浦和校8期校友会
ペットボトルキャップ回収担当 蔵重

28年度もペットボトルキャップ回収にご協力いただきありがとうございました。

平成28年度は、お陰さまで約129kg、約56087個回収できました。



(平成25年9月からメーカー各社の環境配慮活動によりエコキャップの重量が平均1個2.5gから1個2.3gに軽量化されたため、1kg=400個から430個で計算)

来年度も引き続き回収を行う予定です。よろしくお願ひ申し上げます。

今回の量は「ポリオワクチン65.2人分」になります。また、この量のキャップを燃焼させると約406kgの炭酸ガスが発生しますので、この分地球環境改善に貢献しました。

平成21年4月からの合計は、総重量947kg、総個数400312個、ポリオワクチンは476人分です。また、キャップを燃焼せずに2983kgの炭酸ガスの発生量を減少させた。

なお、22年度及び23年度は日本キリスト教団埼大通り支部からの預かり分を加えて報告しています。同支部が24年度から独自にすることになり集計からはずしました。

	kg	個数*1	ポリオワクチン(人)*2	減少した炭酸ガス発生量(kg)*3
平成28年度	129.0	56087	65.2	406
平成27年度	125.0	54347	63.2	394
平成26年度	113.0	49138	57.1	356
平成25年度	120.0	52170	60.6	378
平成24年度	155.0	66650	77.5	488
平成23年度	140.0	56000	70.0	441
平成22年度	110.0	44000	55.0	347
平成21年度	55.0	21920	27.4	173
計	947.0	400312	476.0	2983

*1)24年度からキャップ軽量化のため1個2.5gから2.3gで計算

*2)24年度からキャップ860個でポリオワクチン1人分(従来は800個で1人分)

*3)1kgのキャップを燃焼させると3.15kgの炭酸ガスが発生

編集後記

総務・広報担当 藤枝 一子

「ふれあい16号」は年間計画では、1月の全体集会で発行予定でしたが、諸般の事情で、本日の総会での発行となりました。投稿いただきました方には感謝申し上げます。

2016年度は、初めてブロック活動が実施されましたが、ブロックの皆さんの活動された報告も紙面を飾ることができました。以前よりは会員のお顔とお名前が憶えられて、親しみが増したことと思ひますがいかがでしょうか？

校友会員も学友会の際の144名から、2017年度は63名の予定です。自身や家族の健康上の理由で、校友会活動も参加できない方もおられますが、「今日行くところがある」ということはとても大切になってきます。校友会活動にできるだけ参加するということ、健康を維持する一つの方法だと思ひます。年齢を重ねるということは、今までできていたことが、少しずつ時間がかかるようになってきます。今後は、健康に留意して過ごしましょう。